

入札説明書

令和 8 年札幌市告示第3389号に基づく入札等については、札幌市契約規則、札幌市物品・役務契約等事務取扱要領その他関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

1 告示日

令和 8 年 8 月 28 日

2 契約担当部局

(1) 契約に関すること

郵便番号 060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

札幌市市民文化局市民生活部消費生活課

電話：011-211-2245 FAX：011-218-5153 メールアドレス：sapporoshohi@city.sapporo.jp

(2) 業務内容に関すること

郵便番号 060-8611 札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

札幌市市民文化局市民生活部アイヌ施策課

電話：011-211-2277 FAX：011-218-5153 メールアドレス：ainushisaku@city.sapporo.jp

3 入札に付する事項

(1) 売払い件名及び数量 札幌市アイヌ文化交流センター伐採木売払い

長材64m³・枝条、タンコロ113t

(2) 売払い件名の内容

仕様書による。

(3) 引渡し期日

令和 8 年 10 月 16 日

(4) 引渡し場所

札幌市アイヌ文化交流センター（札幌市南区小金湯27番地）

(5) 入札方法

総価で行う。なお、落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。）をもって落札金額とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

4 入札参加資格

(1) 地方自治法施行令第167条の 4 の規定に該当しない者であること。

(2) 令和 8 ～11年度札幌市競争入札参加資格者名簿（物品・役務）に登録されている者であること。

(3) 会社更生法による更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法による再生手続開始の申立てがなされている者（手続開始の決定後の者は除く。）等経営状態が著しく不健全な者でないこと。

(4) 事業協同組合等の組合がこの入札に参加する場合は、当該組合等の構成員が、構成員単独での入札参加を希望していないこと。

(5) 札幌市競争入札参加停止等措置要領の規定に基づく参加停止の措置を受けている期間中でないこと。

5 入札書の提出方法等

(1) 入札書の提出場所、契約条項を示す場所及び問い合わせ場所

上記 2 (1)に同じ。なお、本入札説明書及び様式は下記URLのホームページで公開する。

<https://www.city.sapporo.jp/shohi/keiyaku/ippankyoso/ippan.html>

(2) 入札書の受領期限

令和 8 年 9 月 14 日（月）17時15分を受領期限とする（送付の場合は必着のこと）。

(3) 入札書の提出方法

入札書は別紙 1 の様式にて作成し、持参又は送付により提出すること。なお、提出にあたっては以下に留意すること。

ア 持参による入札

入札書を直接持参し提出する場合は、封筒に入れ封印し、かつ、その封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「令和8年9月15日10時00分開札〔札幌市アイヌ文化交流センター伐採木売払い〕入札書在中」の旨を記載し、上記(1)宛に、入札書の受領期限までに提出しなければならない。

また、代理人が入札する場合にあっては、委任状（別紙2）は入札書と同封せず提出すること。

イ 送付による入札

送付により提出する場合は二重封筒とし、それぞれに「令和8年9月15日10時00分開札〔アイヌ文化交流センター伐採木売払い〕入札書在中」の旨を記載し、上記(1)宛に入札書の受領期限までに送付しなければならない。

また、代理人が入札する場合にあっては、委任状（別紙2）は入札書と同封せず外封筒に入れて送付すること。なお、電報、ファクシミリ、電話その他の方法による入札は認めない。

ウ 入札の撤回等

入札者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

(4) 売払い案件の仕様等に対する質問及び回答

ア 提出方法

電子メールにより提出すること。件名は「札幌市アイヌ文化交流センター伐採木売払いの入札に関する質問」とすること。なお、電話による質問は受け付けない。

イ 提出先及び提出期限

(ア) 提出先

上記2(2) 札幌市市民文化局市民生活部アイヌ施策課

メールアドレス：ainushisaku@city.sapporo.jp

(イ) 提出期限

上記1の告示の日から令和8年9月4日(金)の12時15分までに提出すること。

ウ 回答の方法

令和8年9月8日(火)17時15分までに、ホームページで公開する（質問を行った法人名等は公表しない）。なお、提出期限までに到着しなかった質問については、回答しない。

(5) 入札の無効

ア 本説明書に示した競争参加資格のない者のした入札、入札に関する条件に違反した者のした入札、その他札幌市契約規則第11条各号の一及び札幌市入札参加者心得第8項各号の一に該当する入札は無効とする。

イ 札幌市物品・役務契約等事務取扱要領第13条に定める入札参加資格の審査書類の提出の指示があったにもかかわらず、指定された期日までに当該書類の提出がなされなかったときは、当該入札は無効とする。

(6) 入札の延期等

次のいずれかに該当したときは、当該入札を延期し、中止し、又はこれを取り消すことがある。

ア 入札者が相連合し、又は不穏の挙動をする等の場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき。

イ 天災その他やむを得ない事情が発生した場合であって、競争入札を公正に執行することができない状態にあると認められるとき。

ウ 売払いを取りやめ、又は売払い内容の仕様等に不備があったとき。

(7) 代理人による入札

ア 代理人が入札する場合には、入札書に競争入札参加資格者の氏名又は名称及び住所並びに代理人であることの表示、及び当該代理人の氏名を記入して押印(外国人の署名を含む。)をしておくとともに、入札時に委任状(別紙2)を提出しなければならない。

イ 入札者又はその代理人は、本調達に係る入札について他の入札者の代理人を兼ねることができない。

(8) 開札の日時及び場所

日時 令和8年9月15日(火)10時00分

場所 札幌市役所本庁舎13階 市民文化局市民生活部消費生活課事務室

(9) 開札

- ア 開札は、入札者又はその代理人を立ち合わせて行う。ただし、入札者又はその代理人が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。
- イ 入札者又はその代理人は、開札時刻後に置いては、開札場に入場することはできない。
- ウ 入札者又はその代理人は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は入札権限に関する委任状を提示しなければならない。
- エ 入札者又はその代理人は、入札執行職員又はその補助者が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。
- オ 開札をした場合において、入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格に達した価格の入札がないときは、別途期限を定め再度の入札を行う。なお、再度入札の回数は、原則として2回を限度とする。

6 その他

(1) 入札保証金

入札保証金 免除

(2) 契約保証金 要

契約を締結しようとする者は、契約金額の100分の10に相当する額以上の契約保証金又はこれに代える担保を、落札決定後、契約保証金の納付に係る通知（納入通知書到達）の日の翌日から起算して5日後（5日後が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日）までに納付し、又は提供しなければならない。

なお、指定期日までに納付又は提供がなかった場合には、落札決定を取り消すとともに、札幌市競争入札参加停止等措置要領の定めに基づき参加停止の措置を行う。

ただし、札幌市契約規則第25条各号の一に該当するときは、契約保証金を免除することがある。

(3) 最低制限価格の設定 無

(4) 落札者の決定方法

ア 落札者の決定

札幌市契規則第7条の規定の規定に基づき作成された予定価格以上で、最高価格をもって入札（有効な入札に限る。）をした者を落札候補者として、落札保留のうえ下記ウの審査を行い、その結果、入札参加資格を有する者と確認できた場合に、当該落札候補者を落札者とする。

イ 同額抽選

落札候補者となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、直ちに、当該入札者にくじを引かせて落札候補者の審査の順位を決定するものとする。この場合において、当該入札者又はその代理人がくじを直接引くことができないときは、これに代えて、当該入札事務に関係のない職員がくじを引くものとする。

ウ 入札参加資格の審査

落札の決定を保留した後、落札候補者が、入札参加資格を有する者であることを審査するので、落札候補者は、入札執行者の指示があった日（原則として開札日）の翌日から起算して3日以内（土曜日、日曜日及び休日を除く。）に、上記4に掲げる競争入札参加資格を有することを証する書類（別紙3参照）を提出しなければならない。電子メールにより提出する場合、事前に契約担当部局に電子メールにて提出することを申し出たうえで、差出人アドレスは札幌市競争入札資格（物品・役務）に登録されている見積依頼用メールアドレスとすること。

エ 入札参加資格を有しなかった者の取扱い

上記ウの審査の結果、落札候補者が、入札参加資格を有しない者であることを確認した場合は、その者の入札を無効とする。この場合において、予定価格以上で最高の価格をもって有効な入札をした者を、新たな落札候補者として、上記ウの審査を行う。以後、落札者が決定するまで同様の手続を繰り返す。

(5) 落札の取消し

落札者が次の各号の一に該当するときは、当該落札を取り消すものとする。

ア 契約の締結を辞退したとき、又は市長の指定した期限内に契約を締結しないとき。

イ 契約保証金の納付義務のある者が、指定する期日までに、契約保証金の納付がなかったとき。

ウ 入札に際し不正な行為をしたと認められるとき。

エ その他入札に際し入札参加の条件に欠けていたとき。

(6) 契約書の作成

ア 競争入札を執行し、契約の相手方を決定したときは、遅滞なく契約書を取り交わすものとする。ただし、契約保証金の納付義務がある場合は、その納付が確認された後とする。

イ 契約書を作成する場合において、契約の相手方が遠隔地にあるときは、まず、その者が契約書の案に記名押印し、更に市長が当該契約書の案の交付を受けてこれに記名押印するものとする。

ウ 上記イの場合において市長が記名押印したときは、当該契約書の1通を契約の相手方に送付するものとする。

オ 市長が契約の相手方とともに契約書に記名押印しなければ、本契約は確定しないものとする。

(7) 契約条項

契約書案（別紙４）のとおり